

展開方向Ⅳ

特徴ある地域資源を活かした農村と集落の再生・活性化

農村の豊かな地域資源や香川の強みを活かし、都市部住民との交流や移住・就農を促進するとともに、多面的機能や集落機能の維持・発揮を図り、笑顔で暮らせる活力ある農村づくりを目指します。

<施策>

1	多面的機能の維持・発揮
2	独自の特徴ある地域資源を活かした農村の活性化
	(1) 地域特性を活かした特色ある農業の推進
	(2) 独自の特徴ある地域資源を発掘・利用した地域活動の推進と移住・定住の促進
3	地域コミュニティ機能の維持・活性化
4	農村の活性化を支える人材の育成

<指標>

指標番号	指標	現状 (H26年度)	目標 (H32年度)	目標値の考え方
再掲 24	多面的機能の維持・発揮活動を行う農用地面積	13,784ha	16,340ha	県内の稲作付面積水田14,500ha(H24)とその区域内に存在する畑1,840haの合計面積を目標とする。
31	地域作物に新たに取り組む産地数	—	5産地	特色ある農業や地域活動の活性化に向け、新たな品目の掘り起しなどにより、新たな産地の育成を図る。
32	グリーン・ツーリズム交流施設の体験・宿泊者数	137,700人	179,000人	農業体験施設などの利用者数(宿泊者数と体験者数)について25%の増加を目指す。
再掲 25	集落営農組織数	225組織	350組織	過去5年間の平均14.6組織を上回る設立を目指し、年間30地区程度を選定し、6割強の20組織を育成する。
33	農村の活性化を支える人材育成研修の回数	2回/年	4回/年	地域のリーダーを育てる研修会を集落営農塾やグリーンツーリズム実践者研修会、ふるさと水と土指導員研修会などを年4回開催し、人材の育成を図る。

農村地域において、農業者や自治会などの多様な主体による水路や農道、ため池などの保安全管理や植栽などによる景観形成に対する協働活動の取組みを促進・強化するとともに、環境への負荷や影響、農村景観、生物多様性等に配慮した農地や農業用施設の整備を推進して、農業・農村の多面的機能の維持・発揮を図るとともに、自然環境や美しい景観に配慮した農村づくりを目指します。

現状と課題

- 農村は、農業の営みを通じて、洪水の防止や水源のかん養、美しい自然環境や伝統文化の保全・継承などの多面的機能を有していますが、過疎化や高齢化による農業従事者の減少により、相互扶助などの集落機能が低下し、多面的機能の維持が困難となってきました。
- 農村の地域や集落における農業の営みの継続、農地や農業用施設、農村環境などの保全・管理について、農業者や地域住民などが協働で行う活動を支援するとともに、県民への理解促進に取り組む必要があります。

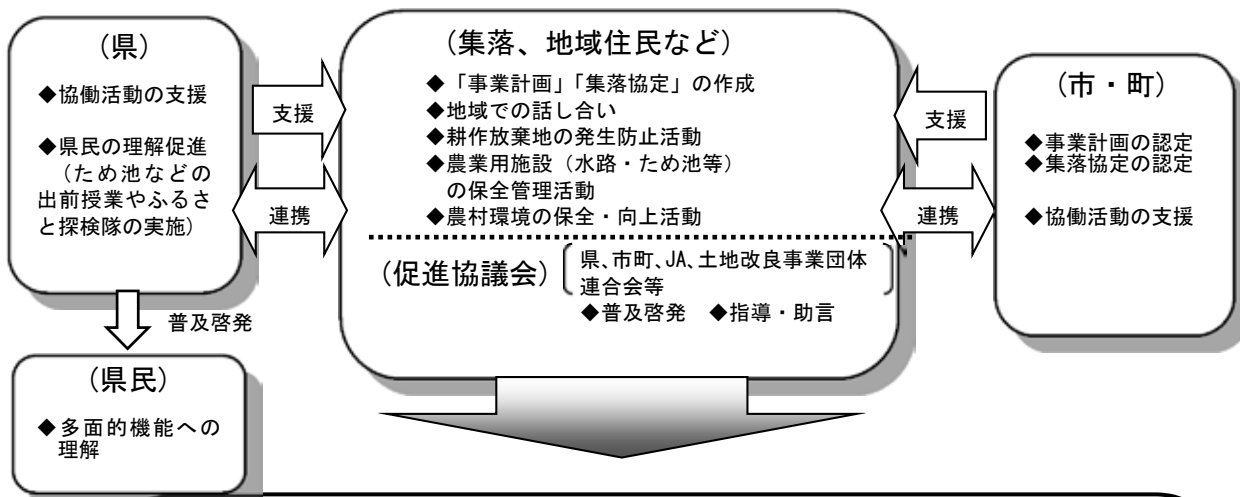
具体的な施策

- 多面的機能の維持・発揮の促進
 - ◆ 農業者をはじめ、自治会など多様な主体が参加して協働で行う、農地や水路、農道、ため池などの草刈や「いでざらい」、景観作物の植栽などの保全・管理活動や水路等の補修・更新などの農業用施設の長寿命化対策への取組みを促進します。
 - ◆ 中山間地域などの農業生産条件が不利な地域において、農業者などが主体となって協働で行う、耕作放棄地の発生防止や水路、農道、ため池などの管理などの取組内容、集団で支え合うなどの目標を定めた「集落協定」に基づく、継続的な農業生産活動などを促進します。
 - ◆ 「環境保全型農業直接支払」に基づき、農業者で組織される団体等が行う、環境に優しい営農活動を促進します。
- 多面的機能の理解促進
 - ◆ 農業・農村の多面的機能の理解促進を図るため、都市部の小学生などを対象として、その役割や機能を学習する出前授業や香川用水などの農業水利施設を見学する体験学習に取り組みます。

○ 多面的機能の維持・発揮に配慮した整備

- ◆ 農地や農業用施設の整備について、環境への負荷や影響、農村景観、生物多様性に配慮した整備により、多面的機能の維持・発揮に努めます。

推進のイメージ



農業・農村の多面的機能の維持

◆多面的機能

- 持続可能な食料供給
 - ・食料を安定生産し、安全な食料を供給する機能
 - ・持続的な食料供給により、将来に対する安心を与える機能 など
- 環境への貢献や洪水を防止する機能
 - ・土砂崩壊や土壌浸食を防止する機能
 - ・地下水をかん養する機能
 - ・生物の多様性を保全する機能
 - ・良好な景観を形成する機能
 - ・水質の浄化、有機性廃棄物を分解する機能
- 地域社会の形成維持
 - ・地域社会を振興する機能
 - ・伝統文化を継承する機能
 - ・やすらぎを与える機能
 - ・体験学習や教育の場を提供する機能

展開方向
Ⅳ

2 独自の特色ある地域資源を活かした農村の活性化
(1) 地域特性を活かした特色ある農業の推進

特色ある農業や地域活動の活性化に向け、新たな品目の掘り起しや情報の収集・提供のほか、生産拡大に向けた支援を行い、特有の気象条件や立地条件など、地域の特性を踏まえ、農作物の生産振興を図ります。

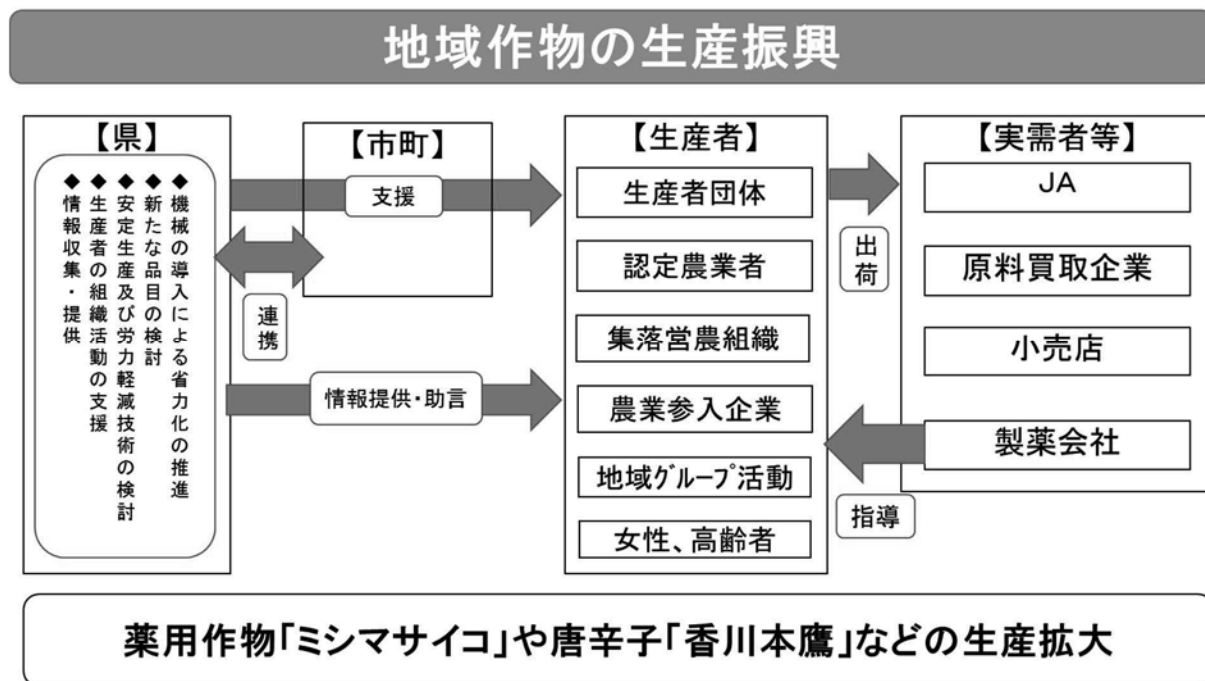
現状と課題

- 生産規模は小さいものの、東讃地域のサトウキビ、中讃地域のマコモダケ、中讃及び西讃地域の唐辛子「香川本鷹」をはじめ、自然薯や大豆など、県内では特色のある作物が生産されています。
- こうした地域作物への取組みは、中山間地域などの条件不利地域での集約的農業の展開や、高齢な農業者の農業所得の確保につながることを期待されます。
- 地域作物は、栽培技術等が確立していないこと、栽培の省力化をはじめとした機械化が遅れていること、生産基盤が脆弱（生産者の高齢化・担い手不足）であるため、消費者・実需者のニーズに応じた生産量の確保や販売体制等が整備されていないこと等の課題があります。

具体的な施策

- 地域作物の生産による農山村の活性化
 - ◆ 地域でのこれまでの取組みを踏まえるとともに、薬用作物「ミシマサイコ」などの新たな地域作物についても検討し、農山村の活性化を図ります。
- 地域作物の推進体制の整備等
 - ◆ 地域作物について、情報収集に努めるとともに、推進体制の整備を推進します。
 - ◆ 現地研修会の開催等により、生産者の組織活動を支援します。
 - ◆ 実証ほの設置により、地域の実態に即した栽培技術の確立を推進します。
 - ◆ 特色ある農業や地域活動の活性化に向け、新たな品目の掘り起しを行います。

推進のイメージ



2 独自の特徴ある地域資源を活かした農村の活性化

(2) 独自の特徴ある地域資源を発掘・利用した地域活動の推進と移住・定住の促進

農村の豊かな自然環境や伝統文化、農産物などの魅力あふれる地域資源を発掘、活用し、都市部へ積極的に情報発信を行い、グリーン・ツーリズムや小学生などへの体験学習などを通じて、都市住民との交流促進を図るとともに、農業就労体験や地域住民との交流活動などを支援し、本県への移住・定住の促進に努めます。

また、市町など関係機関と密接な連携のもと、効果的な就農相談や各種支援策などによる就農定着に努めます。

現状と課題

- 農村の過疎化や高齢化による農業従事者の減少などにより、集落機能や農村のコミュニティ機能が低下しています。
- このような中、健康でゆとりある生活、安らぎ、自然を求める流行と相まって、都市住民のグリーン・ツーリズムなど都市・農村交流のニーズは増加しています。
- 農業・農村に眠る地域資源を発掘するとともに、教育や保健休養などの多様な機能に着目し、特色ある農業の推進や都市住民との交流、移住・定住人口の増加を促進する必要があります。

具体的な施策

○ 都市住民との交流・移住・定住の促進

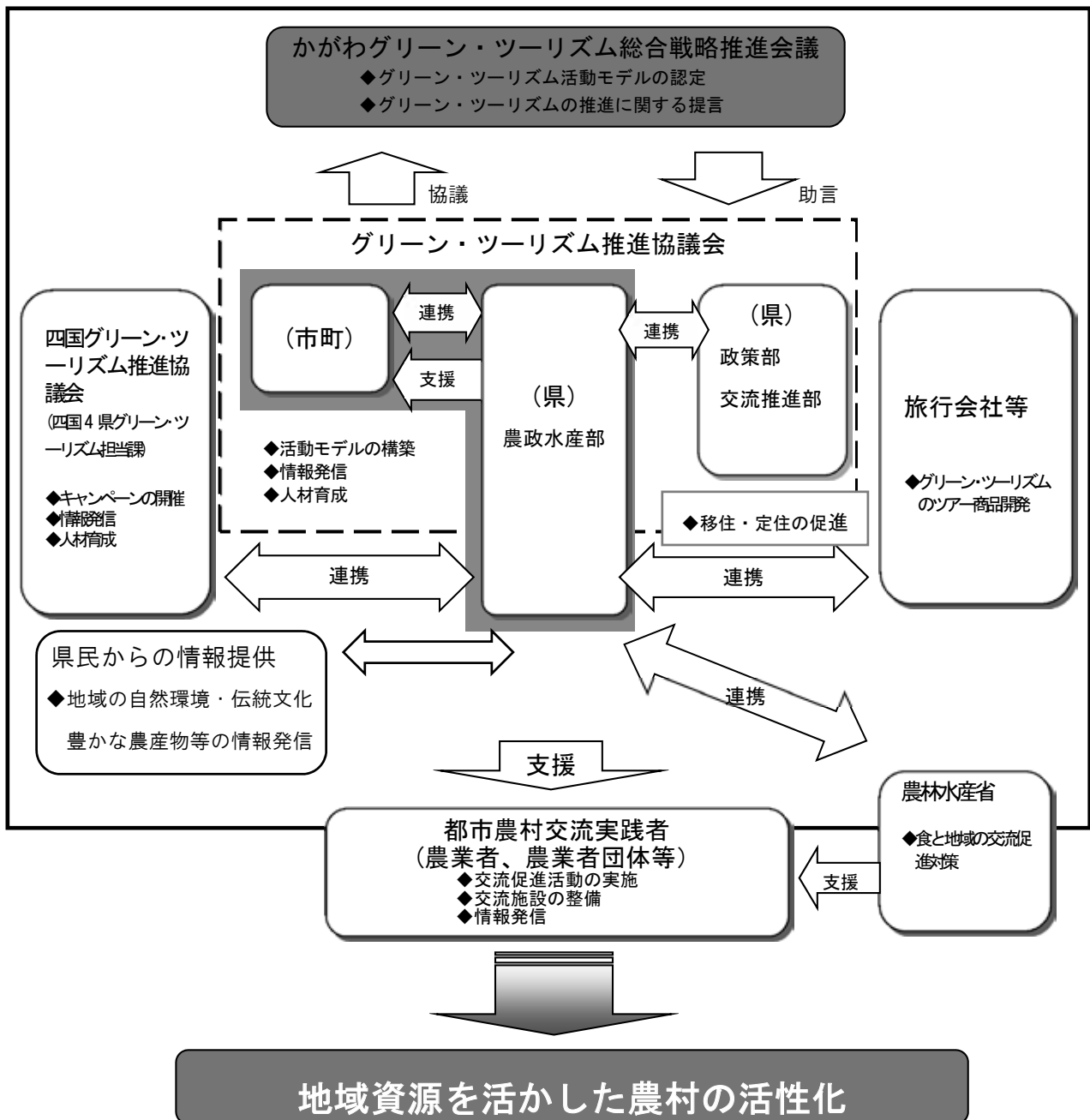
- ◆ 里山やため池など独特の農村景観や都市部と農村部が隣接している地理的条件など本県の特性を踏まえ、都市住民との交流を促進するとともに、地域資源を活用した農業就労体験、地域住民との交流活動などを支援し、本県への移住・定住の促進に努めます。また、市町など関係機関と密接な連携のもと、効果的な就農相談や各種支援策などのコーディネートやサポート体制の充実・強化などによる就農定着に努めます。
- ◆ 地域に眠る豊かな自然環境、伝統文化、棚田や農産物などの魅力的な地域資源を発掘及び調査を行い、情報発信に取り組みます。

○ グリーン・ツーリズムの推進

- ◆ グリーン・ツーリズムの有識者や実践者などと連携し、地域資源や農業体験施設などの関連施設を活用した体験ツアーやフェアを開催するとともに、県外からの誘客を拡大するため、四国4県と連携し、「かがわのグリーン・ツーリズム」の大都市圏でのPR活動やスケールメリットを活かしたキャンペーンに取り組みます。

- ◆ ホームページやパンフレットなどにより、都市住民に対し情報を発信するとともに、グリーン・ツーリズムに取り組む市町や農業者等に対し、交流施設の整備や情報発信、交流促進活動を支援し、都市住民との交流、移住・定住の促進に努めます。

推進のイメージ



農地や農業用施設などの保全管理のための協働活動の実践を通じた地域での話し合いや、市町などとの連携による研修会の開催などにより人材を育成し、集落機能の再構築や地域コミュニティの維持・強化に取り組みます。

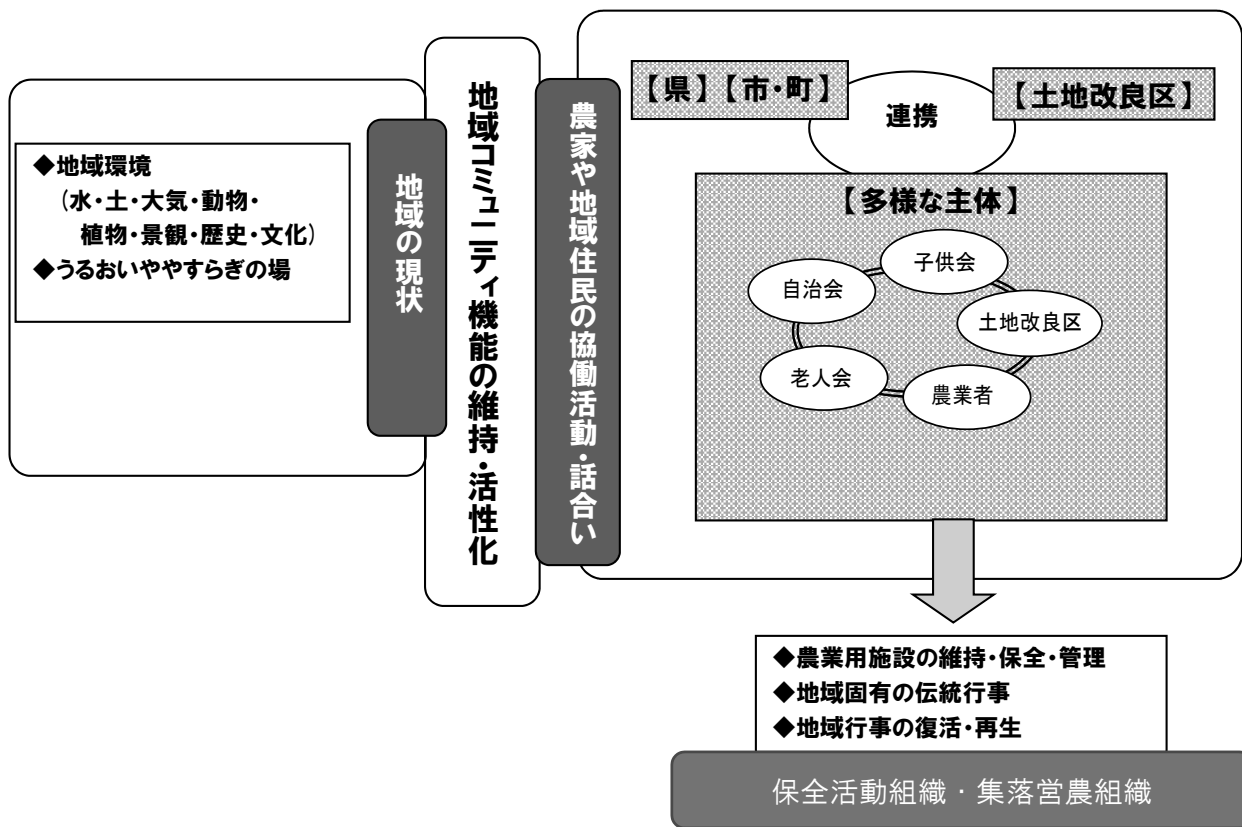
現状と課題

- 農村地域は、農業従事者の減少や耕作放棄地の増加、鳥獣被害の拡大による農業生産意欲の低下により、農村地域が有している相互扶助などの集落機能が弱体化し、水路や農道などの地域資源の保全が危惧されるとともに、地域の祭りや集会などの行事が減少しています。
- 農業者や地域住民などの協働による水路や農道などの地域資源の保全活動などを通じて、集落機能の維持や地域コミュニティの活性化を図る必要があります。

具体的な施策

- 協働作業などによる地域コミュニティの維持・活性化
 - ◆ 農地や農業用施設の保全管理や景観作物の植栽など、農業者や自治会など多様な主体による協働活動を支援し、地域での話し合いや地域活動の活性化を促進して、集落機能の再構築や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。
 - ◆ 集落営農の組織化・強化を支援することにより、営農の省力化や農業生産コストの低減を促進するとともに、地域での共同活動や話し合いなどを通して、集落機能の再構築や地域コミュニティの維持・活性化を図ります。
 - ◆ 農地や水路等の地域資源の保全活動組織や集落営農組織において、新規組織の設立を推進するとともに、既存組織の維持・強化に取り組み、集落全体で地域を支える体制の整備を支援し、これらを契機として6次産業化への取組みを促すことにより、農村の維持・活性化を目指します。
- 集落リーダーの人材育成
 - ◆ 市町など関係機関との連携により、集落リーダーの掘り起こしや研修会などの開催、集落での合意形成活動を支援し、集落機能の再構築を図ります。

推進のイメージ



青年層や女性を対象とした経営研修会・交流会を開催し、経営や地域への積極的な参加を促すとともに、高齢者の優れた知識や技術の円滑な継承促進と、集落営農や起業化など多様な地域活動を支える組織や人づくりを支援します。

農村地域における多面的機能の維持・発揮や都市との交流などの取組みを促進するため、研修会や交流会を開催し、地域のリーダーとなる人材育成に取り組みます。

現状と課題

- 農村地域では、過疎化や高齢化による農業従事者の減少により、相互扶助などの集落機能が低下して、多面的機能の維持が困難となってきています。
- このため、農業者や地域住民の協働による農地や農業用施設の保全活動や集落営農の推進などを通じて、多面的機能の維持・発揮や集落機能の維持、地域コミュニティの強化を図るとともに、これらの活動組織を担う地域のリーダーや組織の育成、また女性や高齢者の活躍の機会を拡大する必要があります。

具体的な施策

- 農村の活性化を支える人材の育成
 - ◆ 青年農業者や集落営農を目指す農業者などを対象としたリーダーの育成を図ります。また、これらの活動も含め、女性リーダーの育成等を図るための研修会などの活動支援や活躍の機会を広げるための各種イベントへの参加要請や紹介を行います。
 - ◆ グリーン・ツーリズム実践者や中山間地域における地域保全活動の活性化を支援する「ふるさと水と土指導員」等に対し、研修会や交流会を開催し、中山間地域の多面的機能の良好な発揮と地域住民活動の活性化、都市住民との交流を促進するための地域活動リーダーの育成を図ります。

推進のイメージ

